

株主メモ

決算期	3月末日(年1回)
定時株主総会	6月中
基準日	3月末日 臨時株主総会の開催その他必要があるときは あらかじめ公告して定めます。
権利確定日	利益配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番3号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	[住所変更等用紙のご請求] ☎0120-175-417 [その他のご紹介] ☎0120-176-417
同事務取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.via-hd.co.jp/
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券・銘柄コード	7918



VIA HOLDINGS INC.
株式会社 ヴィア・ホールディングス

第71期 事業報告書

2006年4月1日～2007年3月31日

JASDAQ
(証券コード7918)

ホームページではこの事業報告書のほか、ヴィアグループに関する
最新情報をリアルタイムで公開しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.via-hd.co.jp>

株式会社 ヴィア・ホールディングス

〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6801

過去最高売上高・経常利益を達成。

「衣・食・住・遊・知」を担う 総合企業グループとしての飛躍を目指します。



株式会社ヴィア・ホールディングスは、ホールディングス体制をとって3期目に突入し、10社を統括する企業へと成長しました。2007年4月には、横川紀夫を代表取締役会長兼社長、三甲野隆優を代表取締役副会長とする新体制をスタートさせ、2010年度のグループ目標である、売上高1000億円、経常利益100億円達成を目指します。

2006年度の国内経済は、企業業績の堅調な伸びと雇用状況の改善により、景気の回復が喧伝されながらも長らく低調だった個人消費に、ようやく復調の兆しが見られました。しかし不況の時代を通し、個人消費は「本物か。妥当か」を峻別するスタイルに進化しました。そこで「衣・食・住・遊・知」の広範な個人消費領域を対象とするヴィア・グループでは、価格に対する品質を高めて、お客様にご満足いただけるサービスを心がけてまいりました。

その結果、外食サービス事業においては、メニュー改訂や店舗運営の効率化等による既存店の充実、新商圈への新規出店を進め、前年比増収・増益を実現しました。特に、焼き鳥居酒屋「総本家備長扇屋」は300店舗を突破し、「魚や一丁」は、売上高、経常利益ともにV字回復を成し遂げました。

また、株式会社日本システムの、カードゲーム事業によるコンテンツ事業への進出、株式会社NBKによる、コンビニ感覚で利用できる女性専用会

員制フィットネススタジオ「スリム・アンド・トーン」の出店、有機食材・有機食品の提供を行う株式会社パチャコム・ジャパンの設立と、新規事業の展開が相次ぎました。さらに2007年3月には、焼きとん居酒屋「日本橋紅とん」を展開する株式会社紅とんが当グループに加わりました。これにより、過去最高となる売上高と経常利益を達成することができました。今後は、外食サービス事業、健康サービス事業、印刷・コンテンツ等の事業の売上高構成のバランスをとりながら、2010年度の総売上高1000億円達成を目標として、事業の拡大を進めてまいります。

好調な業績を受け、今期は15期ぶりに、念願の株主の皆様への配当を実施できる運びとなりました。さらに、500株以上の株主様への、株主優待制度もスタートします。今後はさらなる飛躍と成長を目指して、お客様、そして株主の皆様のご期待に沿うべく、より一層の精進を重ね、邁進してまいります。

株式会社 **ヴィア・ホールディングス**

代表取締役会長兼社長

横川紀夫

代表取締役副会長

三甲野隆優

TOPICS

2006-2007

トピックス

15期ぶりに配当を実施

ヴィア・グループの好調な業績と、新規事業の開発やM&Aによる事業拡大の結果、当社は今期、15期ぶりに、念願の株主の皆様への配当を実施できる運びとなりました。今後も株主の皆様への直接的利益還元を重視し、業績に連動した利益配当を行っていく所存です。

TOPICS
2006-2007 01

備長扇屋300店舗達成

順調に店舗を増やす「総本家備長扇屋」。2006年6月に計画通り「全国300店舗」を達成しました。2007年3月31日現在では331店舗となり、500店舗体制に向け確実に邁進しています。



TOPICS
2006-2007 02

ヴィア・グループをよりご理解いただくために、株主優待制度をスタートさせます。

2007年4月より、3月末日現在500株以上保有されている株主の皆様に対し、ヴィア・グループの飲食店全店(2007年5月末日現在478店舗)でご利用いただける、10,000円分の「株主優待お食事券」を贈呈いたします。お食事をお楽しみいただくことを通して、ヴィア・グループへのご理解を深めていただければ幸いです。



紅とん、ヴィア・グループに参画

2007年3月、M&Aにより、焼きとん居酒屋の「日本橋紅とん」がヴィア・グループの一員となりました。現在、東京を中心に15店舗(うちFC7店舗)で展開中です。今後も、首都圏を中心に出店を進めていきます。



TOPICS
2006-2007 03



魚や一丁、過去最高益を達成し 新たに2店舗出店

刺身居酒屋「魚や一丁」は、2007年度3月期、過去最高益を上げ、2005年にヴィア・グループの一員となって以来初めて、2店の新規出店を果たしました。



TOPICS
2006-2007

04

パチャコム・ジャパン設立

「食の安全」への関心が高まる中、2006年10月、安全・安心な有機食材、有機食品の提供を行う、株式会社パチャコム・ジャパンが設立されました。同社を通し、ヴィア・グループは、地球にやさしく健やかな生活を、消費者の皆様様に提案してまいります。

TOPICS
2006-2007

05



飲酒運転防止への取り組み

飲酒運転について、酒類を提供する側の企業としての社会的責任を認識し、その防止に真正面から取り組んでいます。郊外に立地する「総本家備長扇屋」では、車で来店のお客様と未成年への酒類の提供禁止を徹底するとともに、赤・黄・青3種類のコースターを用意し、それぞれ「車で来店のため今日は飲まない(赤)」、「車で来店したが飲むので代行運転を依頼(青)」、「車で来店していないので今日は飲みます(黄)」の意味をもたせて、コースターを提供しています。さらに、赤のコースターを選んだお客様には、ウーロン茶飲み放題のサービスを行っています。

TOPICS
2006-2007

06

確定拠出年金スタート

2007年4月より、確定拠出年金制度を導入して、従業員の将来の生活設計をサポートします。昨年導入したエイジ・フリー制度や、業績に応じたストック・オプション付与などとともに、従業員が安心して働ける環境を整え、力を100%発揮できる企業グループを実現します。

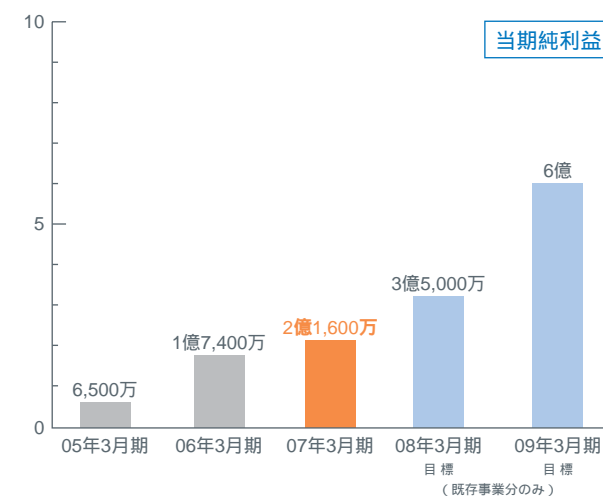
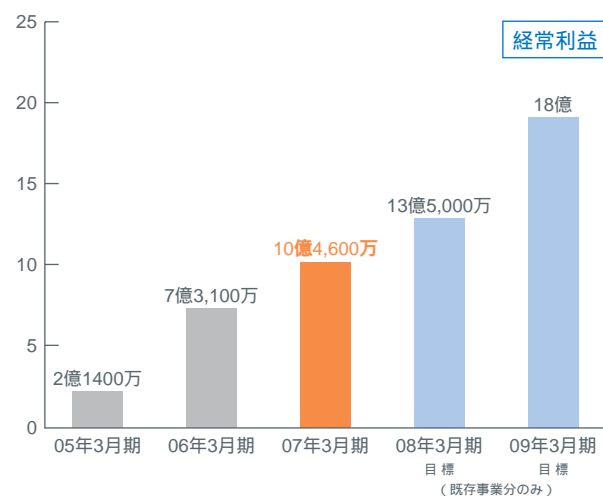
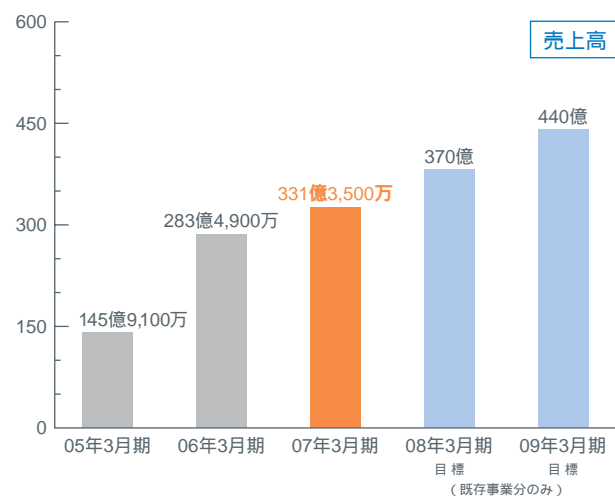
TOPICS
2006-2007

07

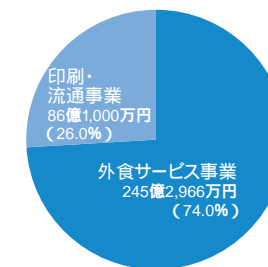


2007年3月期連結決算は、
 売上高**331億3,500万円**
 経常利益**10億4,600万円**を達成。

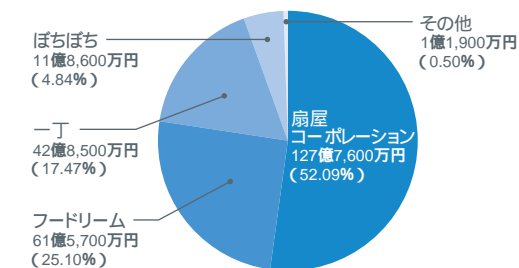
2008年3月期は、
 売上高**370億円**(前期比11.7%増)
 経常利益**13億5,000万円**(前期比29.1%増)を目指します。



セグメント別売上比率



外食サービス事業の会社別売上比率



連結財政状態

総資産 **248.9億円** 純資産 **66.5億円** 純資産比率 **26.7%**

業績の概況

当期の当社グループは、主要事業である外食サービス事業においては、業態別の戦略を明確にし、顧客ターゲットを絞り込んだ個性的なチェーン展開をベースに推進してまいりました。たとえば「総本家備長扇屋」の積極的な新規出店、「魚や一丁」の刺身居酒屋としての原点回帰を目指したメニュー改定、「(株)フードリーム」における店舗のスクラップ・アンド・ビルド、「ぼちぼち」での店舗QSCの向上による収益性の改善などがあります。印刷流通事業では、出版業界からの受注が減少する中、電子書籍市場に参入する等、情報加工企業への転換を進めてまいりました。また、「(株)日本システム」は、大手アミューズメント会社とのタイアップによる新商品力

ードゲーム機の販売を行い、大幅な収益改善がなされました。さらに、コンビニ型フィットネスクラブ「スリム&トーン」を立ち上げました。新規事業としては、平成18年10月に、オーガニック食品の開発及び卸販売を行う(株)パチャコム・ジャパンを設立しました。また、平成19年3月、焼きとんの「日本橋紅とん」が「(株)紅とん」としてグループに参画しました。以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上高33,135百万円、営業利益1,146百万円、経常利益1,046百万円と過去最高の売上高及び利益を達成いたしました。当期純利益は、前期比24.1%増の216百万円となりました。

次期の見通し

今後のわが国経済は、海外経済や原油価格の動向など不安材料はあるものの、引き続き景気は堅調に推移するものと思われれます。

当社グループの関連する外食サービス事業及び印刷流通事業につきましては、景気全般の回復とともに少しずつ上向いてくると思われれますが、依然として厳しい状況が続いております。

この様な状況の中、当社グループは引き続き既存事業の拡大と新規

事業開発に注力し、業績の拡大と安定的に利益計上できる企業体質を確立すべく努めてまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高37,000百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,350百万円、当期純利益350百万円を見込んでおります。

VIA GROUP



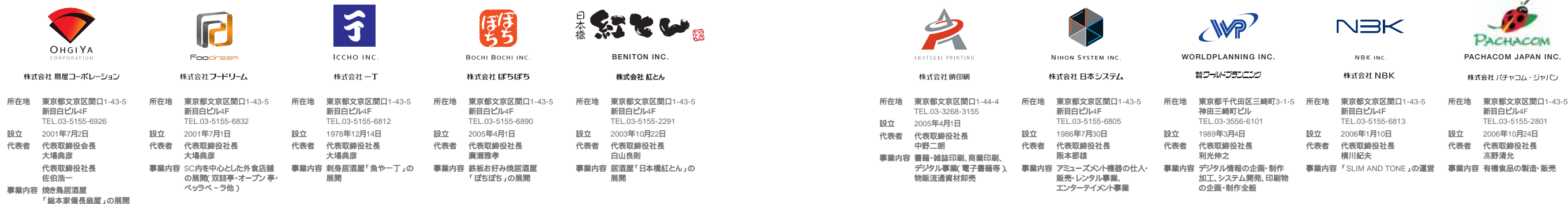
所在地 東京都文京区関口1-43-5
新目白ビル4F
TEL.03-5155-6801
設立 1948年2月26日
代表者 代表取締役会長兼社長 横川紀夫
代表取締役副会長 三甲野隆優

会社別 業績目標

次期 (2008年3月期) 単位:億円

売上高			
扇屋コーポレーション	147.1	日本システム	25.0
フードリーム	57.4	ワールドプランニング	7.6
ぼちぼち	11.0	パチャコム・ジャパン	2.0
一丁	50.0	NBK	1.0
紅とん	10.0	ヴィア・ホールディングス	9.5
暁印刷	61.7	調整勘定	12.3
			計 370.0

経常利益	
連結	13.5





株式会社 扇屋コーポレーション
OHGIYA CORPORATION INC.

扇屋ブランド強化とお客づくりへの挑戦

焼き鳥居酒屋「総本家 備長扇屋」は、2007年3月末日現在、全国で331店舗を展開しています(直営店228店、フランチャイズ店103店)。2006年度の飲食業ランキング(日経MJ)によると、売上高伸び率において28位、店舗売上高で97位の業績をあげることができました。また、酒類を提供する店側の社会的責任がより厳しく問われる環境の下、ロードサイド店舗を中心に、車の運転者をコースターの色により特定し、運転者には酒類を提供しない「飲酒運転防止オペレーション」に取り組んでまいりました。

今後の成長戦略としては、お客づくりのマネジメントをキーワードに、備長炭焼きの技術研鑽による「早い料理提供」、まごころ師制度の導入・運用による「笑顔と心配りのクイックサービス」を実現し、さらなる扇屋ブランドの強化を図ります。

また、基本的なコンセプトは全国統一でも、立地や地域特性に応じた商品開発と販売促進に積極的に挑戦し続け、「2009年度・500店舗体制」の実現に挑みたいと考えております。

代表取締役社長 佐伯浩一



株式会社 フードリーム
FOODREAM INC.

既存店収益力強化と新たな展開に向けて

株式会社フードリームは、大手スーパー・駅ビル・ショッピングセンターなど、飲食店の集積地を主要な事業拠点として、本格手捏ねハンバーグの「オープン亭」、茹で上げパスタをお手ごろな価格で提供する「パスタモレ」、総合中華料理の「双喜亭」、本格的イタリアン「ベッラベラ」を主力に、79店舗を22都府県に展開しています。

「すぐやる・かならずやる・できるまでやる」をモットーに、サービス・調理技術の向上に主眼をおいた強化施策を推進しました。また、シーフードグリルのスタイルを確立した「オーシャングリルトーキョー」、希少性の高い豚肉を使用した専門店「菜豚」、西部劇の雰囲気を感じた店内で本格ハンバーグを味わう「シェーンズバーグ」、手作り小籠包と手作り餃子を落ち着いた店内で楽しめる本格中華「虎包(フーパオ)」と、将来の展開をにらんだ新規業態の開発にも積極的に取り組んでまいりました。

第2成長期の初年度と位置づけた今期、全社一丸となって、各業態の収益構造の再構築を推し進めつつ、顧客への新たな付加価値の提案を行い、「強い企業への基盤づくり」を短期間で進めてまいります。今後のフードリームの挑戦にご期待ください。

代表取締役社長 大場典彦



株式会社 ぼちぼち
BOCHI BOCHI INC.

既存店の収益力強化を実現

「ぼちぼち」は、本場大阪風のお好み焼と鉄板焼を特注の大鉄板で焼き上げ、昭和30年代のレトロな内装の「癒し」の空間でお楽しみいただくユニークな業態です。当期の「ぼちぼち」は、既存店の収益力強化に軸足を置き、来るべき規模拡大に備えた足場固めの一年となりました。6~8週間スパンの新メニュー投入に代表される積極的な商品戦略を軸に、料理提供時間の短縮等のオペレーションの改善を進め、平均売上高、収益率の向上を達成しました。また、高い調理技術・接客技術を実現する技術体系の構築と継続的訓練の実施、新人事制度の導入による活力の向上等、組織力の強化にも力を注ぎました。さらに、不採算2店を閉店・業態転換して収益構造を強化すると共に、成熟マーケットである飲食業界にあって、アフリカがテーマの「マイマイ」を実験的に池袋にオープンし、規模拡大に向けての選択肢拡充に着手しました。

次期は、「より多くのお客様の、より多くの満足」を実現すべく、当期に構築した収益構造をブラッシュアップし、さらなる既存店の収益拡大、23区を中心とする首都圏への新規出店をめざし、規模の拡大に邁進いたします。

代表取締役社長 廣瀬雅孝



株式会社 一丁
ICCHO INC.

攻めの経営に転じる、魚や一丁の新たな挑戦

「ここ一軒で北海道」がキャッチフレーズの刺身居酒屋「魚や一丁」は、2007年3月末日現在、直営15店、フランチャイズ6店を展開しています。

2005年7月のVIAグループ参画を機に、既存店収益力強化に着手し、商品面・営業面・管理面から多くの施策を実行してまいりました。特に、鮮度・ボリューム・お値打ち価格を追求した刺身舟盛がお客様の圧倒的な支持をいただくなど、刺身居酒屋の原点回帰が奏功し、2006年度の業績はV字回復を成し遂げることができました。

これを基盤に、2007年度は攻めの経営に転じ、新規出店を積極的に進めてまいります。商品面では、刺身・かに・寿司を基軸に、より一層のお値打ち感を訴求して、競合他店との差別化を鮮明にしてまいります。

中期経営計画の「2010年3月期 40店舗体制」実現に向けて積極的な出店戦略を展開して規模の拡大を図り、そして毎年過去最高益を更新する。これが「魚や一丁」の新たな挑戦です。

代表取締役社長 大場典彦





ビジネスモデルの確立と人材育成を推進

2003年12月に日本橋で産声をあげた、焼きとん居酒屋の『日本橋 紅とん』は、『株式会社 紅とん』として、2007年3月にヴィア・グループに参画しました。

朝挽きの『豚モツの串焼き』と『もつ煮込み』、『冷えたビールとホッピー』でサラリーマンの皆様のたくさんの支持を得てスタートした『日本橋 紅とん』は、2007年3月現在、東京を中心に15店舗の出店を果たしました。「2012年度に首都圏に100店舗の布陣」の目標達成に向けた当期の最大の課題は、ビジネスモデルの確立と出店を支える人材の育成と考えています。そのために立地タイプの異なるいくつかの地域へ出店し、立地に合わせたビジネスモデルを確立してまいります。

また、より多くの皆様に毎日でも、旨いものをリーズナブルな価格で召し上がって頂けるよう、調理技術・サービスの水準を上げます。そして、幹部社員のマネジメント技術を向上させてまいります。

ヴィア・グループ『株式会社 紅とん』の挑戦は、始まったばかりです。

代表取締役社長 白山良則



「コンテンツ・プロデュース・カンパニー」を目指して

新生・暁印刷の今年度は、第一次3か年計画の仕上げの年となります。昨年度立ち上げたデジタル事業は、1年という短期間で電子書籍市場にしっかりとポジションを獲得することが出来ました。一方、70年余の歴史を持つ印刷部門では、生産の一貫性を高めるためにOPP加工機を導入し、クライアントにとってより効率的なサービスを提供できるようになりました。

また、他社との差別化を図るために、コンテンツ・プロデュース部門として「カスタマー・サービス・グループ」を設け、マーケティング思考を基本としてクリエイティブ、セールスプロモーション、リサーチ、新メディア開発、新事業展開などを企画、実行していくこととしました。本事業はまだ助走段階ですが、今後は従来の印刷部門及びデジタル部門と合わせ3つの部門が相互に機能することによって、クライアントにより高度なサービスが提供できるよう、力を入れてまいります。

暁印刷は、今後も信頼できるパートナーとして、コンテンツを中心に据え、販売者側の4Pから消費者側の4Cまでをインタラクティブにプロデュースする新しい形の会社作りを目指して、更なる挑戦をしてまいります。

代表取締役社長 中野二郎



笑顔づくりが仕事です

「総合エンターテインメント企業」へと更なる変貌を遂げるべく、私たち日本システムは、今後も新規のエンターテインメント事業に取り組んでいきます。

音楽、映像、キャラクター等の著作権を利用した商品開発では、独自のマーケティング手法によるプロモーションプランにより、新しいエンターテインメントビジネスの可能性を追求していきます。

一方、現在の主軸となっているアーケードゲーム機器の販売においては、自社企画開発商品の取扱い数を増やし、ディストリビューターからメーカーへの転身を実現させるための強い地盤作りを進めてまいります。

当社は事業の全般を通じて、子供からお年寄りまですべての方に笑顔、夢、そして感動を提供できる存在であることを目指します。“笑顔づくりが仕事です” もっと笑顔あふれる社会の実現に貢献するため、ヴィアグループの「遊」の担い手として、新しい発想で日々、挑戦を重ねてまいります。

代表取締役社長 阪本節雄



デジタル情報活用のプロとして社会に貢献

当社は、商品カタログや通販カタログ、情報誌などのデジタル制作事業を中核に、企画・デザイン等のクリエイティブ分野で実績を積み重ねてまいりました。また制作過程ではデータベースを活用し、スピードとコストパフォーマンスを最大限に発揮できる環境を構築してまいりました。

これまでの社会では、保存された情報が眠っていたり、同じ情報が別々に管理されていることがよく見られました。そこで我々は、お客様のデジタル情報を「資産」と考え、情報の管理、伝達、活用と、インターネット時代のビジネスにおいて新しい価値を生み出すためのソリューションを提供してまいります。たとえば商品カタログや通販カタログで使用した文字や画像データは、営業提案書や販促物、WEBサイトや電子商取引など多方面に活用でき、それらの制作過程を一部共通化することで、効率よく高度な施策に結びつけることができます。

今後も、情報に新たな息吹を吹き込み、将来を見据えてお得意先と共に歩む会社、企業と企業、企業と生活者との最適なコミュニケーションを創造する会社となるよう邁進し、社会に貢献してまいります。

代表取締役社長 利光伸之



NBK 株式会社 NBK NBK INC.

地域密着型健康創造のインフラを目指して

昨年、女性専用会員制サーキットトレーニング施設であるSLIM AND TONE事業を開始した当社は、「会員様の生き活きたしたライフスタイルをトータルサポートする」事を目指して、4店舗の直営店を運営してまいりました。わずか30分間で全身の効果的な運動が可能という“コンピニ感覚”の手軽さに加え、地域のコミュニケーションの「場」として高い評価をいただいております。

今後は、会員様へのパーソナルカウンセリングサービスをより充実させることにより、会員様との長期的な関係性を深めてまいります。また、サーキットトレーニングのみならず、会員様の健康に寄与する商品・サービスを創造いたします。これらを実現させるために徹底したスタッフ教育を行う所存です。

また、今年度はフランチャイズパッケージを開発することにより店舗展開の加速を志向すると共に、女性の真の自立を支援するための事業としての役割も担います。

これらの事業展開により、SLIM AND TONEを単なるトレーニング施設としてではなく、地域密着型の健康を創造するインフラとして構築してまいります。

代表取締役社長 横川紀夫



株式会社 パチャコム・ジャパン PACHACOM JAPAN INC.

心身に優しいオーガニック食品提供に 真正面から取り組みます

私たち人類は地球の大自然の恩恵を受け、様々な生物と共存しています。弊社名「PACHACOM・パチャコム」の「PACHA・パチャ」とは、インカ語で「天の恵み」という意味で、「COM」とは、英語の「Community」「Communication」「Company」の3Cを意味します。地球が「恵みの楽園」となることを願った造語です。

弊社の使命は、健やかな心と体をつくるため、安全・安心な有機食材、有機食品の提供を行うとともに、地球にやさしいライフスタイルの提案を行うことです。農業や化学肥料を使用しない穀物や野菜の生産にも関わり、化学調味料や添加物を使用せずに、美味しいオーガニック食品の加工提供を行ってまいります。販売先としては、病院給食や老人ホーム給食を予定しているほか、自然食品店、有機食品に関心の高い会員様を対象とする通信販売企業との提携なども企画中です。

パチャコム・ジャパンは、ひとりでも多くの方に「恵みの楽園」オーガニック・ライフを楽しんで頂けるよう、大地に根を這わせた粘り強い企業活動を行ってまいります。

代表取締役社長 高野清允



外食サービス事業・店舗展開

2007年5月末現在

5. 近畿

兵庫県 備長扇屋(9) らーめん萬亭(1) 合計(10)	大阪府 備長扇屋(30) オープン亭(1) 合計(31)
奈良県 備長扇屋(8) 合計(8)	和歌山県 備長扇屋(4) 合計(4)
京都府 備長扇屋(3) オープン亭(1) パスタモーレ(1) 合計(5)	滋賀県 備長扇屋(4) 合計(4)

4. 北信越

新潟県 備長扇屋(6) オープン亭(1) 合計(7)	富山県 備長扇屋(3) オープン亭(2) 合計(5)
長野県 備長扇屋(11) 双語亭(1) オープン亭(1) カプチーナ(1) 合計(14)	石川県 備長扇屋(3) 双語亭(2) 合計(5)
	福井県 備長扇屋(1) 合計(1)

6. 九州・中国・四国

福岡県 備長扇屋(4) 合計(4)	山口県 備長扇屋(1) 合計(1)	広島県 備長扇屋(5) いろり庵(1) 合計(6)
岡山県 備長扇屋(3) 合計(3)	愛媛県 備長扇屋(4) 合計(4)	
高知県 備長扇屋(3) 合計(3)	香川県 備長扇屋(8) 合計(8)	
徳島県 備長扇屋(5) 合計(5)		

未出店地区

3. 東海

岐阜県 備長扇屋(18) 合計(18)	愛知県 備長扇屋(50) らーめん萬亭(1) オープン亭(2) カプチーナ(1) パスタモーレ(1) カプチーナ(1) 合計(56)	静岡県 備長扇屋(21) 双語亭(1) オープン亭(1) 合計(23)
三重県 備長扇屋(6) オープン亭(1) 合計(7)		

1. 北海道・東北

北海道 備長扇屋(7) 魚や一丁(4) 合計(11)	青森県 オープン亭(1) 合計(1)	岩手県 双語亭(1) カプチーナ(1) 合計(2)
秋田県 オープン亭(1) 合計(1)	福島県 備長扇屋(7) 本陣串や(1) 双語亭(1) 合計(9)	宮城県 備長扇屋(5) 双語亭(2) 八宝家(1) 魚や一丁(1) 合計(9)
山形県 オープン亭(1) 合計(1)		

2. 関東

群馬県 備長扇屋(7) 合計(7)	栃木県 備長扇屋(6) 双語亭(1) 合計(7)	茨城県 備長扇屋(6) 双語亭(1) 合計(7)
千葉県 備長扇屋(19) 双語亭(3) オープン亭(4) カプチーナ(1) 八宝家(1) ぼちぼち(5) 魚や一丁(33) 合計(33)	埼玉県 備長扇屋(20) 本陣串や(1) 双語亭(2) オープン亭(5) カプチーナ(2) ぼちぼち(8) 魚や一丁(1) 合計(39)	東京都 備長扇屋(28) 本陣串や(1) どり庵(1) 双語亭(2) オープン亭(6) ペッラペーラ(4) ぼちぼち(4) 魚や一丁(6) カプチーナ(1) ノリタ(1) 菜豚(1) オーシャングリル(1) ピバリー(1) マイマイマイ(1) 紅とん(14) 合計(72)
神奈川県 備長扇屋(14) 双語亭(2) オープン亭(4) ペッラペーラ(1) シェンズバーグ(1) パスタモーレ(1) 虎包(1) ぼちぼち(8) 魚や一丁(4) 紅とん(1) 合計(37)	山梨県 備長扇屋(3) オープン亭(1) 合計(5)	

備長扇屋	332店	オープン亭	33店	ぼちぼち	25店	魚や一丁	21店	双語亭	20店
カプチーナ	7店	ペッラペーラ	5店	紅とん	15店	その他	20店	計 478 店舗	

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	資産の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
流動資産	5,889	5,415
現金及び預金	1,795	1,169
受取手形	812	432
売掛金	1,556	2,330
有価証券	-	79
たな卸資産	946	651
前払費用	240	248
未収入金	23	161
立替金	57	98
繰延税金資産	263	147
その他	215	133
貸倒引当金	23	37
固定資産	17,983	19,471
有形固定資産	10,273	11,363
建物・構築物	6,725	7,664
機械装置	550	572
工具器具備品等	990	1,162
土地	1,683	1,756
建設仮勘定	324	207
無形固定資産	3,170	3,896
のれん ¹	2,694	2,803
商標権	257	222
ソフトウェア	117	675
その他	100	195
投資その他の資産	4,539	4,210
投資有価証券	418	197
敷金・保証金	2,751	2,794
長期前払費用	54	129
繰延税金資産	1265	1011
その他	49	86
貸倒引当金	-	7
繰延資産	11	5
資産合計	23,884	24,892

科 目	負債の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
流動負債	10,733	9,046
支払手形	790	934
買掛金	1,760	1,985
短期借入金	6,069	4,070
未払金	708	595
未払法人税等	87	106
未払消費税等	163	143
未払費用	693	695
賞与引当金	204	215
返品調整引当金	-	5
その他	255	293
固定負債	6,877	9,188
長期借入金	6,131	8,500
退職給付引当金	170	181
長期未払金	329	232
その他	244	273
負債合計	17,611	18,235

科 目	純資産の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
株主資本	6,227	6,635
資本金 ²	2,640	2,736
資本剰余金 ²	3,343	3,439
利益剰余金	245	462
自己株式	1	1
評価・換算差額等	45	2
新株予約権³	-	10
少数株主持分⁴	-	8
純資産合計	6,272	6,657
負債純資産合計	23,884	24,892

コメント

1. 10年間で均等償却しております。当期においては、株式会社虹とんの株式取得に伴って424百万円が増加し、当期償却分として315百万円が減少しております。

2. 第1回ストックオプションの権利行使に伴う増加であります。

3. 第4回ストックオプション(平成18年12月13日取締役会決議)の付与に基づいて計上されたものであります。

4. 株式会社パチャコム・ジャパンの資本のうち、当社以外の出資分であります。

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	前期	当期
	2005年4月1日 - 2006年3月31日	2006年4月1日 - 2007年3月31日
売上高	28,349	33,135
売上原価	13,633	15,461
売上総利益	14,716	17,673
販売費及び一般管理費	13,917	16,527
営業利益	798	1,146
営業外収益	324	210
営業外費用	392	310
経常利益	731	1,046
特別利益	12	70
特別損失	336	319
税金等調整前当期純利益	407	798
法人税、住民税及び事業税	167	184
法人税等調整額	65	398
少数株主損失	-	1
当期純利益	174	216

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

区 分	前期	当期
	2005年4月1日 - 2006年3月31日	2006年4月1日 - 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	997	2,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,894	2,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,108	75
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	0
現金及び現金同等物の増減額(減)	200	590
現金及び現金同等物の期首残高	1,560	1,760
現金及び現金同等物の期末残高	1,760	1,169

連結株主資本等変動計算書

2006年4月1日～2007年3月31日

単位:百万円

	株 主 資 本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2006年3月31日 残高	2,640	3,343	245	1	6,227	45			6,272
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	96	95			191				191
当期純利益			216		216				216
自己株式の取得				0	0				0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						42	10	8	23
連結会計年度中の変動額合計	96	95	216	0	408	42	10	8	384
2007年3月31日 残高	2,736	3,439	462	1	6,635	2	10	8	6,657

単体貸借対照表

単位:百万円

コメント

1. 会社設立(株式会社パチャコム・ジャパン)および株式譲受(株式会社紅とん)により子会社とした2社の株式の増加によるものであります。

2. 第1回ストックオプションの権利行使に伴う増加であります。

3. 第4回ストックオプション(平成18年12月13日取締役会決議)の付与に基づいて計上されたものであります。

科 目	資産の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
流動資産	3,103	1,285
現金及び預金	260	555
売掛金	228	14
有価証券	-	79
前払費用	28	7
未収入金	166	400
立替金	2,198	116
繰延税金資産	147	29
その他	72	81
固定資産	11,607	12,618
有形固定資産	2,704	2,546
建物・構築物	1,019	972
工具器具備品等	9	10
土地	1,462	1,462
建設仮勘定	212	100
無形固定資産	88	266
商標権	60	52
ソフトウェア	18	211
その他	10	2
投資その他の資産	8,814	9,805
投資有価証券	329	131
関係会社株式 ¹	3,986	4,626
敷金・保証金	112	95
長期貸付金	3,243	3,927
繰延税金資産	1,105	913
その他	37	111
繰延資産	7	3
資産合計	14,718	13,907

科 目	負債の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
流動負債	5,266	2,071
短期借入金	3,669	1,798
未払金	11	-
未払法人税等	11	155
未払費用	149	82
賞与引当金	3	1
その他	1,421	32
固定負債	3,200	5,099
長期借入金	3,164	5,064
退職給付引当金	3	3
その他	32	31
負債合計	8,467	7,170

科 目	純資産の部	
	前期末 2006年3月31日	当期末 2007年3月31日
株主資本	6,215	6,721
資本金 ²	2,640	2,736
資本剰余金 ²	3,343	3,439
利益剰余金	233	547
自己株式	1	1
評価・換算差額等	36	5
新株予約権³	-	10
純資産合計	6,251	6,737
負債純資産合計	14,718	13,907

単体損益計算書

単位:百万円

科 目	前期 2006年4月1日 - 2006年3月31日	当期 2007年4月1日 - 2007年3月31日
	売上高	740
売上原価	52	-
売上総利益	688	972
販売費及び一般管理費	553	588
営業利益	134	384
営業外収益	65	95
営業外費用	173	129
経常利益	26	350
特別利益	2	70
特別損失	37	23
税引前当期純利益(損失)	7	397
法人税、住民税及び事業税	278	247
法人税等調整額	116	330
当期純利益	154	314

単体株主資本等変動計算書

2006年4月1日～2007年3月31日

単位:百万円

	株 主 資 本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2006年3月31日 残高	2,640	3,343	233	1	6,215	36		6,251
事業年度中の変動額								
新株の発行	96	95			191			191
当期純利益			314		314			314
自己株式の取得				0	0			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						30	10	19
事業年度中の変動額合計	96	95	314	0	505	30	10	486
2007年3月31日 残高	2,736	3,439	547	1	6,721	5	10	6,737

株式の状況

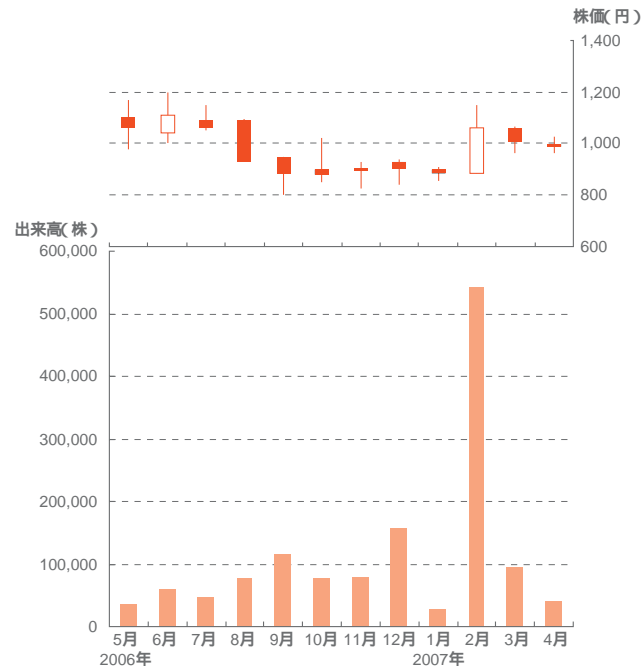
(2007年3月31日現在)

- ▶ 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- ▶ 発行済株式の総数 24,257,000株
- ▶ 株主数 770名
- ▶ 1単元の株式数 100株

大株主

株主名	持株数	出資比率
横川紀夫	3,125千株	12.88%
株式会社 エス・エイチ・コーポレーション	2,760千株	11.38%
株式会社 エム・ティ・ケイ	2,420千株	9.98%
株式会社 J・M・T	2,315千株	9.54%
株式会社 H・S・M	2,315千株	9.54%
株式会社 W&E	2,315千株	9.54%
横川 端	1,089千株	4.49%
茅野 亮	1,083千株	4.47%
横川 寛	1,050千株	4.33%
村上和子	540千株	2.23%

株価および売買高の推移



会社概要

(2007年4月1日現在)

役員

(2007年4月1日現在)

当社グループの従業員数 (2007年3月31日現在)

商号	株式会社ヴィア・ホールディングス VIA HOLDINGS INC.	代表取締役会長兼社長：横川紀夫 代表取締役副会長：三甲野隆優
所在地	〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目ビル4F TEL.03-5155-6801	常務取締役：正部一行 常務取締役：大場典彦 常勤監査役：河村博旨
代表者	横川紀夫 三甲野隆優	監査役：岩村誠之 監査役：達本 明
設立	1948年2月26日	
資本金	27.3億円	
従業員数	10名	

事業の種類	従業員数
外食事業	549名 (2,007名)
印刷・流通事業	173名 (46名)
その他	10名 (0名)
合計	732名 (2,053名)

従業員数には、使用人兼務取締役は含まれておりません。
従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は1日8時間換算による年間の平均人員を()外数で記載しております。

CORPORATE IDENTITY コーポレートアイデンティティ

シンボルマーク



VIA HOLDINGS INC.
株式会社 ヴィア・ホールディングス

人類の叡智の結晶「ピラミッド」をモチーフに、「総合力」「結束力」「永続性」「上昇」「大志」を表現しています。

またシンボルカラーの
V:「ブラック」は「宇宙=秩序、創造」を、
I:「レッド」は「心=情熱、思いやり」を、
A:「ブルー」は「水=生命、知性」を象徴しています。

ネーミング

VIAとは、「Valuable & Imaginative Addition」の頭文字の略称です。直訳すると「価値の高い、創造力に富んだ付加」、言い換えれば「世の中により新しい価値を創造していく」という意味を表しています。またVIAという言葉は、英語で「～経由で、～を媒介として」という意味を、ラテン語で「道」という意味を持ちます。

これらの意味を合わせて、VIAという社名に「私たち独自の力を通して、世の中により新しい価値を創造し、未来への道を切りひらいていく」という意志を込めています。

GROUP PHILOSOPHY グループ理念

心が響き合う価値の創造

- ▶ 私たちは、卓越した先見力とマネジメント力により、グループ企業の専門力を相互に高め、ノウハウを統合し、革新的なライフカルチャーの創造を推進します。
- ▶ 私たちは、顧客の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組みます。
- ▶ 私たちは、創造力・自立心・情熱を中心とした「人間力」を最も大切な資産と位置づけ、その力が最大限に成長・発揮できる環境をつくります。

GROUP MISSION グループミッション

- ▶ 私たちは、顧客満足の最大化を第一の目的とします。
- ▶ 私たちは、オープンで公正な企業カルチャーの構築を通して、社員の生きがいや幸せの実現に努めます。
- ▶ 私たちは、取引先と公平で健全な関係を築き、お互いの大いなる成長を目指します。
- ▶ 私たちは、偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たします。
- ▶ 私たちは、株主にたいする利益還元増大と、株価の維持・上昇に努めます。